

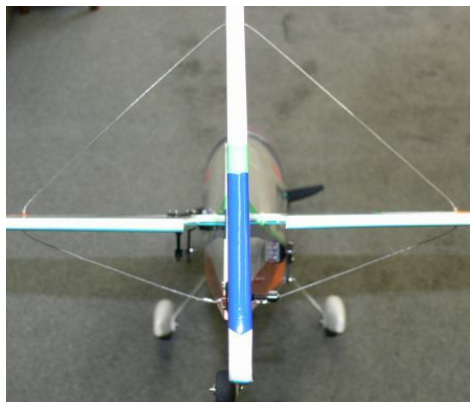
【Cap232 70 高速フラッター防止に役立つ水平尾翼補強の張り線方法】

最近YS FZ70Sなどパワフルなエンジンが開発され、スローアクロフライトのつもりでもうっかり機速が出てしまうことがあります。フラッター防止に水平尾翼補強の張り線をお勧めします。YS63以上のエンジンを搭載される場合は、特にお勧めです。

張り線の方法は、適当な長さにかットした真鍮パイプを水平固定尾翼エルロンスパーの位置に、垂直固定尾翼の前縁位置に上下、又は左右に貫通させて、更に瞬間接着剤で固定します。そして胴体下部からグルッとワイヤーを真鍮パイプに通しながら一周させ、胴体下部まで回します。先ず胴体下部に片側の端をアルミ管を使ってタッピングビスで固定し張りの強さを調整しつつワイヤーの張りが均一になるようにしてから、反対側のワイヤーの端を胴体下部にアルミ管を使ってタッピングビスに固定します。タッピングビスの穴にも瞬間接着剤を少し流し込んでおくとしっかりと固定できます。写真のように機体の後ろから見るとひし形のように水平尾翼の上下とも張ります。張り線をする位置は、水平固定尾翼のエレベータースパーから垂直尾翼です。(写真参照)材料が揃っておれば、ほんの10分程の作業で完了です。張り線補強の効果の程は手で押さえたりするだけで充分わかります。**※本機はスローアクロ専用機です。いくら補強されたとはいえ、表面の重要事項を参考にされて、フライト時のスピードコントロールには十分注意してお楽しみ下さい。**



用意するもの



完成



水平固定尾翼エルロンスパーの位置に、真鍮パイプを上下に通し、垂直固定尾翼の前縁位置に、真鍮パイプを左右に通し瞬間接着剤で固定。



ぐるっと一周ワイヤーを回して、張り具合を調整して胴体上下に差し込んだ真鍮パイプをカシめて固定。翼端のワイヤーと通した穴には、瞬間接着剤を垂らして下さい。瞬間硬化剤を吹き付けるとなお一層良いです。